

楠山正雄 翻譯 兒童文學者、翻譯家、演劇評論家。明治十七年十一月四日東京生れ、昭和十五年十一月二十六日歿（八六四—九五〇）。筆名くすやままさお、く、ま、く、ま、生、楠山生、以寸也乃、編輯主任等。明治二十九年早稻田大學文學部英文科卒。早稻田文學社、讀賣新聞社を経て、四十四年富士房入社、兒童物の再話、繪葉書の從事。傍ら劇評、劇作にも當る。

譯著書、ツヤチヤドシヨオ作『運命の人』（譯、大正二年二月十日現代社『近代脚本叢書』。ヤウグストメトリンドブルク作『熱風』併載）、シエニッツチヤ作『廣野の道』（譯、大正二年八月二十日博文館『近代西洋文學叢書』）、『世話狂言の研究』（合著・古劇研究會編、大正五年十一月二十四日大空堂書房。再刊、七年十一月十七日近田書店出版部）、『近代劇選集』全三卷（譯、大正九年二月十日—十年五月二十日新潮社）、『チエホフ全集・ロー櫻の園（外二篇）』（譯、大正九年六月十五日新潮社）、『近代劇十講』（大正十一年八月）『十五年新潮社』『思想・文藝講話叢書』、再刊一全二冊、上巻、下巻。昭和十五年一月十九日『新潮文庫』）、『シエニッツ』『選集』（山本有二共譯、大正十一年九月十七日新潮社）、『泰西戲曲選集』（譯、2・タヤテルシンク作『青い鳥』大正十一年十月十八日、5・エドモン・ロスタン作『シラノ・ド・ベルジユラツク』十一月十日、7・ゾエギント作『地靈』十一月十五日新潮社）、



『近代劇大系』（共譯・近代劇大系刊行會編、第一巻『比歐篇』・一〇大正十二年二月八日、第二巻『比

歐篇』・二〇六月五日、第三巻『比歐篇』・三〇十七日、第五巻『獨逸篇

- ・「ナ」十二年十一月二十日新潮社）、ロマトリンドブルク戯曲全集」  
（譯、第2卷「自然主義劇と一幕物」大正十二年一月、二十八日、第3  
卷「ダマスクスへ」十二年十一月二日、第5卷「祝祭曲と小劇場曲」  
十二年六月二十一日新潮社）、コアンデルセン童話全集・第一卷」（譯、  
大正十二年九月二日新潮社）、コ小學童話讀本」（合著・菊池寛編、  
第五學年下卷・大正十四年九月十九日、第二學年・十月二十三日興文  
社）、コ海外名作戯曲鑑賞讀本・卷參「近代上篇」（共譯・北村喜八編、  
昭和二年一月二十日新詩壇社）、コ御堂殺の子」（昭和二年二月二十  
五日新潮社）、ハンツツ・イプセン作コイプセン集」（譯、昭和一  
年四月十五日新潮社「世界文學全集」）、ロマン・ローラン涼作コジ  
ヤン・クリストフ物語」（昭和四年七月十五日婦人之友社「世界文學  
物語叢書」）、バーナード・シヨー作コシーザーとクレオパトラ」（譯、  
昭和七年八月十五日春陽堂「世界名作文庫」）、イプセン作コ人形の  
家」（譯、昭和十二年九月一日新潮社「新潮文庫」）、杉谷代水譯  
コアラビヤナイト・アーシンドブツドの七航海」（解説、昭和十二  
年十一月十日富山房「富山房百村文庫」）、コアンデルセン童話集」  
（譯、昭和十四年六月十五日新潮社「新潮文庫」）、「日本神話英雄  
譚寶玉集」（一）コ天の浮橋」（昭和十七年六月二十八日、二）コ夢殿」十  
五日、六）コ吉野の行宮」（二十年十一月五日富山房）、コ一人の少年と  
琴」（昭和十七年九月二十五日新潮社「日本童話名作選集」）、コ少  
國民演劇脚本集」（合著・産業組合中央會家の光部一中島賢之助編、  
昭和十七年十一月二十五日汎洋社）、コ源義經」（昭和十八年二月十  
日新潮社）、コ童話名作選」（合著、昭和二十年九月二十日養徳社

- 「善徳叢書」( )、コハハ「はら藤太」(昭和二十五年十月)二十五年日本児童圖書  
出版社)、コハハ「星の銀貨」(譯、昭和二十一年九月)二十一年一月(星社)、コハハ  
「さかしのむねね」(編、昭和二十二年十月十日東京出版社「世界童話集」)、  
橋山芳真遺稿「モリエールのドナタマツルギー」(昭和二十二年十月  
十日)二頁、無刊記)、日本各作「おぼけのお祭り」今昔物語」(昭和二十  
二年十一月二十日新光文社「少年文庫」)、コハハ「ポロンの響琴」ギリン  
ヤ・ローマ神話集」(編著、昭和二十四年八月二十日小峰書店「世界  
おとぎ文庫」)、コハハ「世界童話寶石集」(編、昭和二十四年十一月十日  
富士房)、コハハ「少年劇名作選・世界編」(大木直太郎共編、昭和二十五  
年二月二十日、普及版・二十七年二月十日新潮社)、Tomara-Tota  
(「ハハ」ことば)『(昭和二十五年五月一日ローマ字教育會「ペリカ  
ン文庫」)、ストリンダグリー作「合嬢ジュリー」(譯、昭和二十七  
年八月二十日角川書店「角川文庫」)。青山杉作「演出ノート」(附載)、  
コハハ「楠山正雄歌舞伎評論」(久保田万太郎、河竹繁俊編、昭和二十七年十一月)二十五日  
富士房)、コハハ「新版日本童話大王集」全二冊(第二次改訂版、上・昭和  
二十八年七月)二十日、中・八月十五日、下・九月二十日同社春秋社)、  
コハハ「楠山正雄の戦中・戦後日記」(楠山正香男編、平成十四年四月)二十  
一日富士房)等。